

【オリジナルジングル台本①】

『千年ガジェット狂騒曲』

作 双海たみい

○登場人物

イーサン 古代機械に目がないオタク気質な青年。

発明家の助手をしている。

ツエラ 昔のイケメンに目がないわがまま娘。

イーサンが助手をする発明家の孫。

○本編

イーサン フハハハハ！俺は選ばれた……神に、そして世界に！

ツエラ でた、イーサンの発作。

イーサン ほ、発作いうな！

つーか勝手に入つてくんنつてあれほど言つただろうが！

ツエラ ゃつきノックしたじやない。気付かないアンタが悪いんでしょ。

で、それは？

イーサン フフフ、よくぞ聞いてくれた。さあ手に取つて刮目するがいいさ！

ツエラ ……なにこれ、変な板。

イーサン スマホっていう昔の通信端末だ。

なんと現役稼働する超レアな個体なんだぜ。

ツエラ そんなにすごいの？

イーサン つたり前だろ！ 千年前の古代機械だぞ！

資料でしか見れなかつた憧れを手に取つて、しかも操作できる……

なんて夢のようなんだ。

ツエラ ヘえーそうなのねー。

イーサン うわあ超興味なさそうな反応。

ツエラ 私が興味あるのは大昔のイケメンだけだもーん。

イーサン …お前も大概変な趣味してるとんな。

ツエラ あつー ねえ、これって連作先とか残せる?

イーサン イーサン あー、できるはずだけど。

ツエラ ジャあ私の脳波番号記録して、機械しか送れない

あのポンコツタイムマシンで過去に送れば、昔のイケメンと

連絡とれたりするつて事よね!? 我ながら天才的な発想だわ!

イーサン いや、この時代の人は脳波通信とかしないから。

メールとかSNSとかそこいら辺だから。

ツエラ めー…? えすえぬ…? え、テレパシー使えないの?

じゃあどうすれば…。

イーサン …どうしてもつてんなら博士にメールの使い方聞けば?

あの入そういう過疎文化詳しいし。

ツエラ それよイーサン! たまには役に立つじゃない。

じゃ、そういうことだからこれは貰つてあげる。

イーサン なんでそうなる!!

ツエラ だつてこれ私への誕生日プレゼントでしょ?

いやーまさかイーサンも彼氏探し手伝ってくれる日がくるなんてね。

任せて、私絶対イケメンと付き合つてみせるからー!

はあ!? 誰がお前のためだなんて言つた…つておい待てこらー!

イーサン 俺のスマホ返しやがれー!!

○ ハンドティング

イーサン 「竹内順子 Take a Chance イバナ...」

ツヒラ 「響「ワジオストーンコロ」好評配信中だー。」

イーサン 後、〇〇と、

ツヒラ 役、〇〇 がお送りしました……